

平成31年度(令和元年度)「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	阿倍野区
学校名	大阪市立常盤小学校
学校長名	三島 公徳

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立常盤小学校では、第6学年 232名

平成31年度(令和元年度)「全国学力・学習状況調査」結果の概要

- 国語・算数の平均正答率は以下の通りとなった。括弧内は全国平均・大阪市平均との差。
国語：68ポイント（全国平均+4.2ポイント、大阪市平均+10ポイント）
算数：74ポイント（" +7.4ポイント、" +9ポイント）
- 平均無回答率は、国語で5.3ポイント、算数で2.3ポイントとなり、いずれも全国平均および大阪市平均より良好な値であった。
- 各テストの正答率別児童分布は、正答率8割以上の分布状況は全国平均を上回っているものの、正答率2～3割にも全国平均と同等の分布が見られるなど、学力の二極化現象が見られる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語]

問題形式別について、記述式問題の平均正答率は全国平均を上回っているが、全国平均との差の経年変化を見ると、平成29年度から平成31年度にかけて、+7.5、+2.9、+1.6となり、落ち込みが見られる。領域「書くこと」については、全国平均を5.0ポイント上回っているものの、書くことについての学びには依然として課題があると考える。

[算数]

算数の平均正答率の全国平均との差は、+7.4で、例年どおりの数値を示している。
領域別では「数と計算」「量と測定」「数量関係」の問題の平均正答率は全国平均と比べても高い数値を示している。一方で、「図形」の問題では、全国平均より上位にあるもの+1.3ポイントとなった。指導方法や教材の見直しを図っていく必要があると考える。

質問紙調査より

「自分にはよいところがあると思いますか」の質問に対して、肯定的な回答をしている児童の割合は80.1ポイントで、昨年度より大幅に下落し、全国平均も下回る結果となった。（H28：78.6ポイント、H29：82.4ポイント、H30：88.0ポイント）自尊感情の育成は、本校の課題として継続的に取り組んでいく必要がある。

「学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」の質問に対して、「3時間以上」と回答している児童の割合は全国平均・大阪市平均の2倍以上の値となっている一方で、「30分より少ない」「全くしない」と回答している児童の割合についても全国平均以上の値となっている。学習の習慣化についても、習慣化している・していないの二極化現象を見ることができる。

今後の取組(アクションプラン)

- 主体的・対話的で深い学びの推進
児童自らが課題を見出し、自ら進んで解決策を考えたり、友だちと学び合う中で解決策を見出したりする学習を通じて、知識を活用して課題に対応したり生活に生かしたりする姿勢を育む学びを展開していく。そのために、各教科や課題に応じた授業展開ができるように授業の充実を図る。
- 習熟度別少人数指導の、より効果的な実施
学習内容の理解度に応じた授業コースを設定した習熟度別授業を重点的に実施していく。児童一人一人の学習状況を分析し、また児童の思いも取り入れながらコース選択を行い、基礎基本の定着や応用力・活用力の伸長を図っていく。
- 読書習慣の育成
学校図書館の全日開館、朝の読み聞かせ活動、朝の読書活動、読み聞かせ活動、読書週間の取り組み等を通じて、読書に親しむ姿勢を育てる。
- 学習習慣の育成
従来の復習を主とした内容の宿題に加えて、「自主学習ノート」の活用を進める。学校での学習のまとめや、自ら見出した課題を追求する学習、反復学習などを行うことで、主体的に学びに向かう姿勢を養っていく。

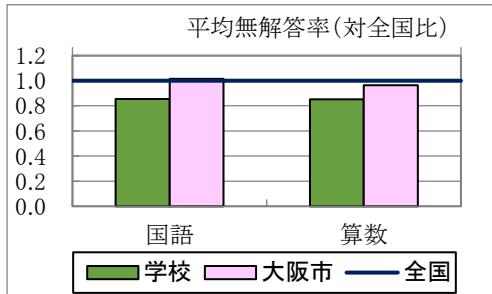
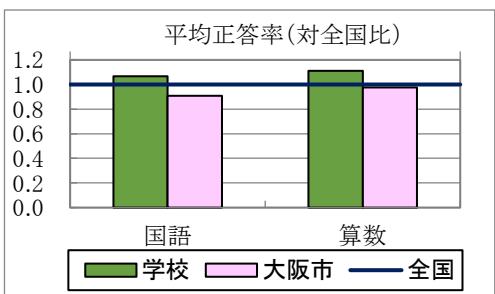
【 全体の概要 】

平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	68	74
大阪市	58	65
全国	63.8	66.6

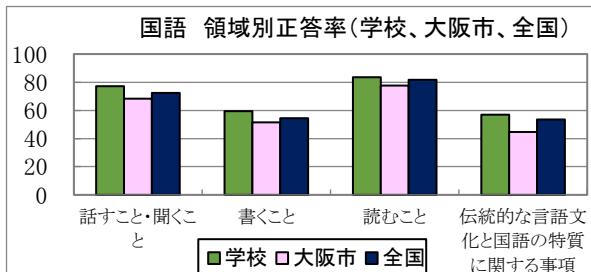
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	5.3	2.3
大阪市	6.3	2.6
全国	6.2	2.7



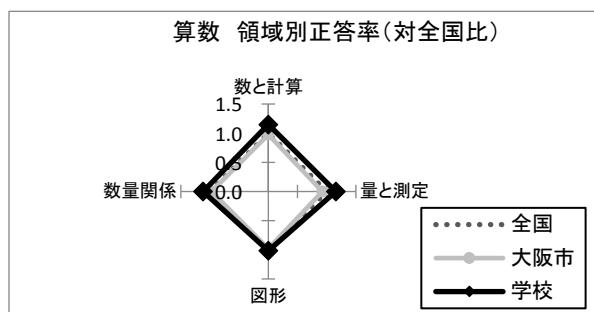
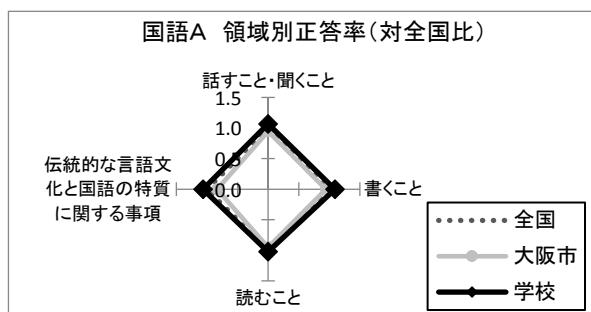
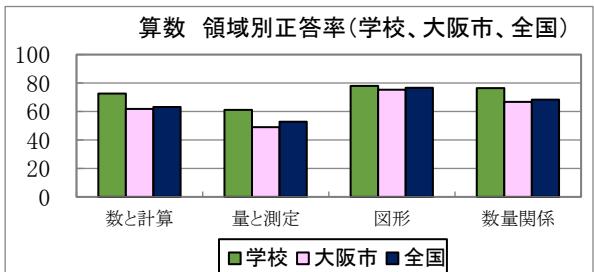
【 国 語 】

	対象設問 数(問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指 導要領 の 領域等	話すこと・聞くこと	3	77.2	68.3	72.3
	書くこと	3	59.5	51.5	54.5
	読むこと	3	83.6	77.7	81.7
	伝統的な言語 文化と国語の特 質に関する事項	5	57.0	44.6	53.5



【 算 数 】

	対象設問 数(問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指 導要領 の 領域等	数と計算	7	72.6	61.7	63.2
	量と測定	3	61.1	49.0	52.9
	図形	2	78.0	75.3	76.7
	数量関係	7	76.4	66.7	68.3



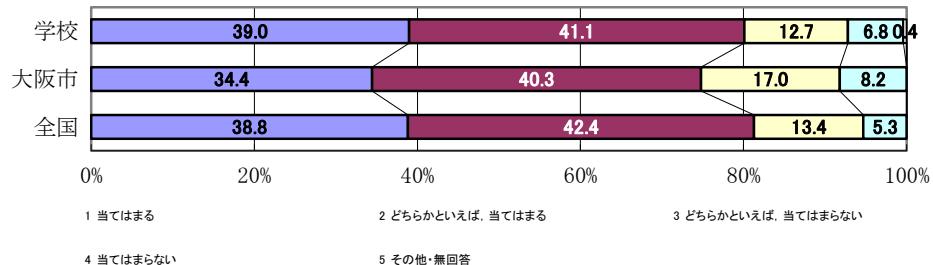
児童質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

質問番号 質問事項

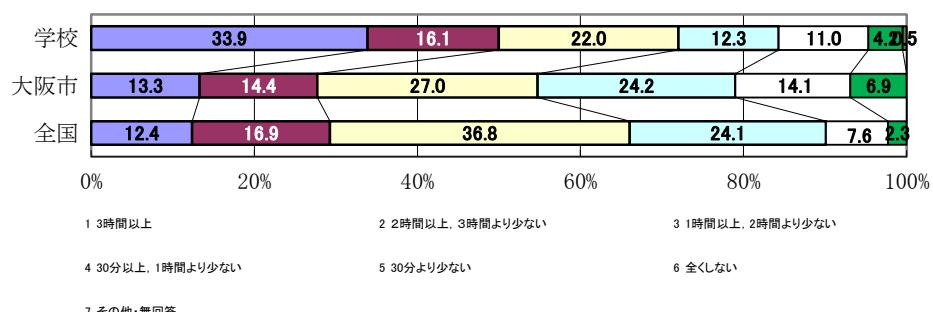
5

自分には、よいところがある
と思いますか



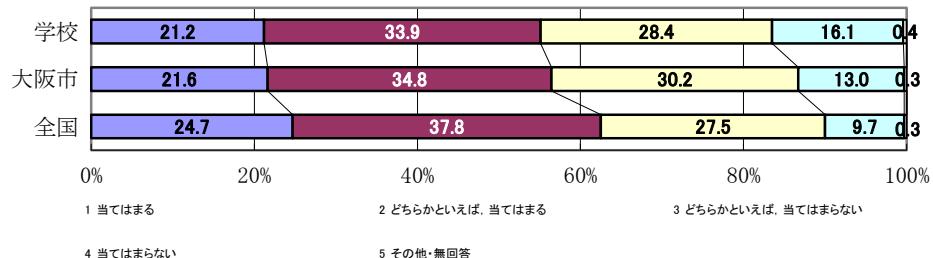
18

学校の授業時間以外に、
普段(月曜日から金曜日)、
1日当たりどれくらいの時
間、勉強をしますか(学習
塾で勉強している時間や家
庭教師に教わっている時間
も含む)



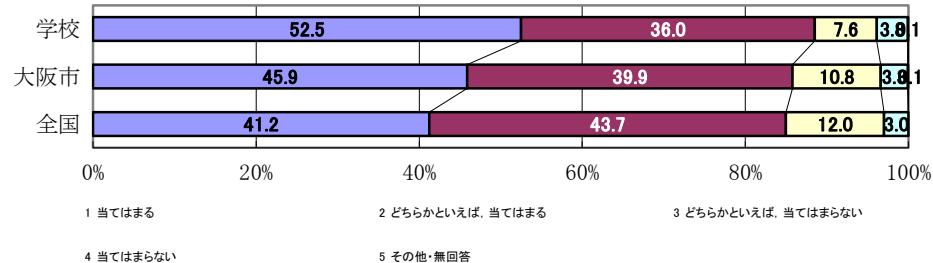
36

5年生までに受けた授業
で、自分の考えを発表する
機会では、自分の考えがう
まく伝わるよう、資料や文
章、話の組立てなどを工夫
して発表していたと思いま
すか



39

国語の授業の内容はよく分
かりますか



48

算数の授業の内容はよく分
かりますか

